

「平成 2 1 年度夏期授業実践講座」 実施報告書

| | | |
|-------------|---|--|
| 講座名 | 「中学校数学科授業実践講座」 | |
| 講師 | 添田 佳伸 氏 （宮崎大学教育文化学部教授） | |
| 実施日時 | 平成 2 1 年 9 月 1 1 日（金） 1 5 : 0 0 ～ 1 6 : 4 5 | |
| 参加者 | 7 2 人 | |
| 講座内容 | <p>『活用する力をつけるために』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学力について 2 活用する力とは 3 活用する場面 4 活用できるためには 5 まとめ |  |
| 参加者の感想・質問など | <p>○授業において、発問をいかに効果的に行うかというのは、毎時間の課題です。講座では、ヒントを与えすぎない方がよいという考えがあります。私もしゃべりすぎているところがあるので、指導法を見直したいと最近よく考えます。今回の講座で、授業改善のヒントが得られたと感じています。今後どう実践するか、さらに研修していきたいです。</p> <p>○新学習指導要領が導入されつつある中、数学では特に活用する力の育成に力を入れなければならないと全国学力・学習状況調査結果にも表れています。今回の講座で、「活用する力」とは何か、「活用する場面設定」での指導法、またどのような問題が有効なのかが分かったような気がします。すぐに授業に活かせるような問題や指導方法があったので早速実践してみたいと思いました。</p> <p>○今回の講座は私にとって、とても高度のものに感じました。もっと勉強が必要だと感じました。かなり理論的な内容でしたので、次の機会には、理論を活用した実践事例を見せていただけないかと思います。</p> <p>○日常にある内容に置き換えた問題を与えて興味を引き出す工夫を日頃行っていないことに気づき、改めて授業の工夫改善が必要だということが分かりました。</p> <p>○講演をたっぷりと時間をとって実施して頂いたのがよかったです。普段ゆっくりと専門書を読んだり、研修したりできないのでとても助かります。討議や演習を行うことよりも良いと思います。</p> | |
| |  |  |